



# 【外部電源接続】外付SDカード防犯カメラ

# 製品取扱説明書



- ①防水カバー
- ②カメラ
- ③赤外線LED48灯
- 4明暗センサー
- ⑤ブラケット用固定穴(上部)
- ⑥ブラケット用固定穴(下部)
- ⑦電源入力端子
- ⑧音声端子(白色)※非対応
- ⑨映像端子(黄色)
- ⑩SDカードスロット
- ①microSDカード挿入口
- ⑫保護カバー
- ③リモコン



## 1 microSDカードの準備(録画サイズ、日時の設定)

- ■はじめにカメラに使用するmicroSDカード(別売)をパソコンに接続し認識させます。
- ■公式サポートページにて「■OL-025 屋内赤外線暗視防犯カメラ」→「設定ツール」をダウンロードし、『Time & Parameter tool』を実行します。
- ■ソフトを立ち上げると下図項目が表示されます。



▲TV-OUT:映像出力の放送規格を設定 日本ではNTSC規格となるので、NTSCを選択

❸Video Size:録画サイズの設定

VGA(640×480px)、CIF(352×288px※実際:320×240px)形式から選択

●上記の設定が完了したら、こちらの「Save Settings And Exit」をクリックします。 設定ウィンドウが閉じたら、microSDカードをPCから取り外し、本体の外付SDカードホルダーにセットし、録画を行うと上記の設定および日時の設定が反映されます。※撮影中および撮影動画には日時が表示されます。尚、日時表示は非表示にできません。

#### |2||電源

- ■はじめに外付⑩microSDカードスロットに設定の完了した(「1.microSDカードの準備」参照) microSDカード(別売)を挿入します。
- ■電源を入れるには②電源入力端子に付属のACアダプターを接続し、コンセントに差し込みます。約15秒後に自動的に録画が開始されます。 ※microSDカードが未挿入、または破損していたり、正しく挿入されていない場合は正常に動作しません。

#### 3 緑画

- ■正しく電源が入ると約15秒後に自動で録画が開始されます。(「2.電源」参照)
- ■録画データは一定時間1ファイルで保存されます。
- ■録画を停止するにはACアダプターをコンセントから抜きます。再度録画を開始するにはACアダプターをコンセントに差し込みます。 ※本製品は繰り返し録画機能により、microSDカードのメモリが一杯になると古いデータから順に上書き録画されます。

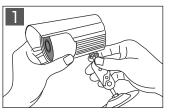
## ※本製品は録画をメインとしたもので、音声録音は非対応となります。予めご了承ください。

#### |4||赤外線機能

■一定以下の明るさになると、④明暗センサーにより自動で③赤外線LED48灯が赤く点灯し、赤外線録画モードになります。 ※赤外線モードではモノクロ映像での録画となります。

## 5 取付方法

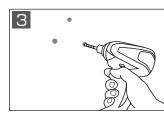
- ■予め、取付予定位置で設置できることをご確認の上、取付作業を行ってください。
- ■設置する際、壁や天井の強度や周辺の状況等、危険がないか十分に確かめ、本品が落下しないようにしっかりと固定してください。



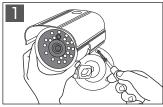
固定ブラケットを本体に取付ます。



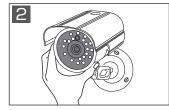
設置する場所に固定ブラケットをあてネジ穴 の位置にペンなどで印をつけます。



印をつけたネジ穴の位置にドリルなどで約Φ 2mm程度の下穴を開けます。



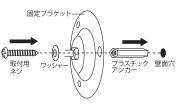
取付金具を付属の取付用ネジで、しっかりと固定します。



カメラ向きや固定ブラケットの角度などを 調整して設置完了です。



# ■ プラスチックアンカーの使用方法・



- ①ドリル等で壁にΦ5.5mm程度の穴を開けます。
- ②プラスチックアンカーを差し込みます。
- ③取付用ネジで壁面に固定します。

ブロック・レンガ・コンクリート壁などに設置する場合は、コンクリートドリル等で壁に 穴を開けます。その後、付属のブラスチックアンカーを差し込み取付金具を取付用 ネジでしっかりと固定してください。

※プラスチックアンカーを差し込む時に接着剤の併用をおすすめします。

#### 設置例



### 再生ソフトについて

本製品の推奨再生ソフトは『VLC media player』になります。ソフトは下記URLより無料でダウンロードできます。

https://www.videolan.org/vlc/index.ja.html (VLC media player※無料) 「VLC」で検索 Q

※VLC media playerで正常に再生できない場合はお客様のパソコン環境の問題となります。

## 【6】外部出力機能〈コンポジット接続〉

- ■本製品の⑨映像端子に、モニター(別売)側の映像ケーブル(別売)で接続します。 TVの場合はモニター側の入力切替等でAV入力などの外部入力に切り替えます。リアルタイムの録画中映像が映し出されます。 ※⑧音声端子がありますが、音声の出力はできません。
- ■ビデオやHDD等のレコーダーに繋げれば、録画することもできます。



## リモコン操作

本製品はモニタリング(「6.外部出力機能」参照)しながら、専用のリモコンで録画データの再生や日時の設定などが行えます。

### ■リモコン操作ボタン説明



- ●メニュー / 戻る
- ②決定/録画開始・停止
- ❸上移動 前後ファイル移動 ❹下移動
- 6左移動/早戻し
- 6 右移動 / 早送り

### ■リモコン操作環境について

リモコンで操作を行う際はカメ ラ本体の正面とリモコン上部(指 示信号送信部)が向かい合うよう にしてください。

尚、リモコンの指示信号の本体受 信可能距離は本体とリモコンの 間に壁や障害物のない状態で約 1.5mとなります。



# はじめに

はじめにリモコンで操作を行うには外部出力(「6.外部出力機能」参照)します。 正常に接続されると図1)映像出力画面になります。以下の手順で操作メニュー画面に移動します。





録画を停止した場合(動体検知 OFF設定)でしばらく(約5秒)操作が

### 2)各種モード操作説明

■図1)映像出力画面でリモコンの『MENU』ボタンを押すと、図2)メニュー画面に移動します。

図 2

■リモコンで各モードを選択します。



## **@Camera**:カメラ

動画撮影モードになります。リモコンの「OK」ボタンで録画の停止・開始ができます。

### @Player:動画再生

録画データの再生モードになります。 図2-2のように録画データの一覧が表示されます。 再生したいデータをリモコンで選択し「OK」ボタンで再生します。 再生中に「◄◀」「▶▶」ボタンで再生データの移動ができます。 また、「◆◆」「▶▶」ボタンで早送り、早戻しができます。

2016-06-29 15-37-49.AVI 2016-06-29 15-38-18.AVI 2016-06-29 15-38-53.AVI

図 2-2

**B**) (C) Player Settings 図 2

**G**Setting:各種設定

本体の各種設定操作になります。詳しくは下記をご参照ください。

Language ☐ Time&Date Size **G** Video System © Frame rate set Dynamic frame rate On motion detect OI

**®** Version

● Language:言語選択 英語、中国語の2つから選択

☐ Time & Date: 日時設定 時間、日付の設定

**G** Size:動画サイズ VGA、QVGAの2つから選択 **⑤** Video System:映像出力形式 日本はNTSC、海外はPALが推奨

**①** Frame rate set:フレームレート 25(実際は15) / 12 / 5fpsの3つから選択 On: 可変フレームレート有効

**● Dynamic frame rate**: ダイナミックフレームレート

■ motion detect:動体検知

Off:可変フレームレート無効 Version: ヴァージョン 本製品のヴァージョン情報

動体検知のOn/Off

図 2-2

⚠ 使用上のご注意

●製品や製品箱のデザインは予告なく変更される事があります。●プライバシーの侵害・迷--惑防止条例等に抵触する行為には使用しないでください。●輸入品につ き、製品箱等にキズ/汚れがある場合がございます。●本製品は録画を目的としたもので、音声につきましては多少聞き取りづらくなっております。予めご了承ください。 ●本製品が作動しない場合は、microSDカードの挿入およびACアダプタが電源入力端子に接続されており、コンセントに差し込まれているかを確認してください。●設 置が不十分ですと落下等の危険がありますので、本製品の設置は確実に行ってください。●取付後、本製品がしっかりと固定されていて脱落しないことを必ず確認してく ださい。●破損・振動・衝撃等のおそれのある場所でのご使用はおやめください。●ベンジンやシンナー等では拭かないでください。●分解や改造をしないでください。

注意・警告 本製品は完全防水ではございません。屋外等の雨がかりのある場所で使用される場合は、

microSDカード挿入口などの記録装置内蔵部およびプラグ等の接続部に防水処理を行う必要があります。 尚、記録装置内蔵部および接続部への浸水等によるショートや火災等の事故についての一切の責任を負いかねます。

On Lord 製品サポートページ http://www.onsquare.jp/index.html